

国際社会・地域社会とともに

良き企業市民として、そしてIT企業として、
特色ある社会貢献活動を実践していきます。

富士通グループでは、
The FUJITSU Way のMission <目標>に掲げた
「国際社会・地域社会との共存共栄」をめざす良き企業市民として、
IT企業の特徴を活かしたさまざまな社会貢献活動を実施しています。

注力する取り組み

- 教育分野での国際貢献
- 環境分野での社会貢献



社会貢献活動の考え方

富士通グループでは、良き企業市民として地域や社会と調和することを重要な行動目標とし、お客様、株主、社員、お取引先・事業パートナー、国際社会・地域社会、公共機関、行政などすべてのステークホルダーの利益に配慮しながら成長する「サステナビリティ(社会の持続可能性)への責任」を果たしていく

ことをめざしています。

その一環として、富士通グループでは、将来を担う青少年の育成や、各分野における活躍の場の提供、国際地域社会とのコミュニケーション、環境保全などを指針とした社会貢献活動を推進しています。

 社会貢献活動の詳細はこちら
<http://jp.fujitsu.com/about/community/>

2006年度の社会貢献活動実績一覧

学術・教育の振興／国際交流

- 日米経営科学研究所(JAIMS)の運営
- (財)情報処理教育研修助成財団(FINIPED)の運営
- 数学オリンピック財団/
NPO法人情報オリンピック日本委員会への活動支援 -
- 富士通アジア・パシフィック奨学金制度
- 富士通キッズサイト

文化・芸術活動

- 富士通コンサートシリーズへの協賛
- 富士通コンコード・ジャズ・フェスティバルへの協賛
- 第14回富士通杯「達人戦」の開催(将棋界唯一のシニア戦)
- 第19回世界囲碁選手権・富士通杯の開催
- 富士通レディースゴルフトーナメントへの協賛
- 川崎フロンターレの活動を支援 など

企業スポーツ

- 陸上競技
- アメリカンフットボール
- 女子バスケットボール

地域活動

- 川崎工場 春まつり
- 沼津工場 茶摘みフェスティバル
- 富士通ソリューションスクエア
くすのき祭 など

災害支援

- インドネシア ジャワ島地震の被災者支援
- 能登半島地震の被災者支援



小学生ふれあいスポーツ教室



富士通キッズサイト

※ その他の環境社会貢献活動はP38を、外部団体との連携はP53をご参照ください。

2006年度の社会貢献活動ハイライト

日米経営科学研究所(JAIMS)の運営

JAIMS (Japan-America Institute of Management Science) は、富士通が全面的にバックアップして1972年に設立し、本年35年目を迎えたNPO教育研究法人です。「日米間のビジネスウェイトが増大する将来に備えて、日米の架け橋になる国際ビジネスマンを養成したい」という当時の社長、高羅芳光の構想をもとに設立されました。

現在もJAIMSを支援する富士通の専門組織(JAIMS支援部)が、対外的にはJAIMS日本支所として、JAIMSへの運営資金などの資金援助や留学生斡旋のための宣伝広告やセミナー企画などのサポートを続けています。

また、富士通はJAIMS設立と同時に(財)情報処理教育研修助成財団(FINIPED)も設立し、JAIMSに参加する日本人や外国人研修生のために奨学金を支給し、人材育成のための資金的サポートも行っています。

1985年には富士通の創立50周年を記念し、日本の文化・社会・経営手法を深く理解し、将来にわたって日本と世界をつなぐビジネスエリートを育成する目的で、JAIMSで学ぶアジア太平洋出身者向けの奨学金制度「富士通アジアパシフィック奨学金制度(FAPSP)」を設立しました。これにより、環太平洋地域のビジネス・パーソン間の文化交流・相互理解を一層強力に推進しています。

Voices

JAIMSは、自らの視野を広げる場所

Ms.Ninibeth Llanto Caunan
(フィリピン/大手電気メーカー勤務)



JAIMSでアメリカ合衆国のビジネス慣習に焦点を合わせた集中カリキュラムをこなすことで、多文化のビジネス環境のなかで働くことに挑戦する備えと、新たな自信ができました。また、日本・フランス・インドネシア・タイ・カンボジア・フィリピン・ハワイ・アメリカ本土に住む方々と友人になれ、4ヵ月の間に、我々は多様な文化的背景にも関わらず、共通点を多く持つもの同士だということを学びました。

JAIMSは東洋と西洋が出会うところ、視野を広げ自分探しのできる場所です。

JAIMSの活動には、留学プログラムの卒業生約3,000名、海外セミナー参加者数約19,000名など、これまで54ヶ国からのべ22,000名以上の方々が参加してきました。参加者はJAIMSで学んだ英語力やビジネススキル、グローバルな人的ネットワークを活用し、世界各国で活躍しています。

また、昨年は、30年以上にわたって国際交流の促進へ寄与してきたことなどが評価され、平成18年度外務大臣表彰を受賞しました。

 日本経営科学研究所(JAIMS)
<http://www.jaims.jp/>

「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」での植林活動を完了

マレーシアでは、焼き畑農業や商業伐採、パームオイルプランテーションなどにより、森林が消失し、その再生が大きな課題となっています。

マレーシアの行政区画の一つで、ボルネオ島東部、ブルネイに隣接しているサバ州のキナルト地区でも焼き畑や森林火災を原因とする荒廃地の拡大が課題となっていました。そうしたなか、サバ州の森林開発公社は、キナルト地区の森林回復のための植林を検討していましたが、資金面の問題などで実施が難航していました。

こうしたなか2002年、富士通グループは国際環境貢献活動として実施している海外植林活動の一環として、サバ州に「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」を開設しました。事業資金として、1万人を超えるグループ従業員から寄付金が寄せられ、現地での植林作業は、当社、グループ企業、および富士通労働組合が推進母体となり、マレーシア政府、(財)国際緑化推進センターの支援、在コタキナバル日本国総領事館の後援を受けて実施してきました。

そして2006年11月までに全6回にわたる植林活動を実施し、150ヘクタールに約37,500本の原生種の苗木を植えました。すでに植林が完了した場所では、サバ州立大学やコタキナバル日本人学校が環境学習の場として活用を開始しています。さらに、将来的には本格的なエコツアーによる経済循環を含めた活用も期待されています。富士通グループでは、今後も海外植林を始めとする国際環境貢献活動を積極的に推進していきます。